

料理とダンス 留学生と

犬山 名経大が交流会開く



料理でもてなすネパール出身の学生ら

(左側) 〓 犬山市の名古屋経済大で

犬山市内久保の名古屋経済大は十一日、留学生と交流する「世界の料理&ダンスパーティー」を学内で開いた。学生たちのほか、国際交流団体の地域住民も参加した。

名経大は留学生を積極的に受け入れており、約二千三百人の学生のうち留学生は19%に当たる約四百六十人。十四の国や地域から来日し、最多はベトナムで全体の四割。次いで中国、ネパールと続く。

パーティーでは主立った出身国の料理を留学生自身が用意して皆で試食した。

ベトナムの学生らは揚げ春巻きなどを二時間かけて準備した。来日四年目で大学院二年のグエン・クイン・

フォンさん(三)は「日本では手に入らない材料もあるので、本場に比べると八割の味。でもおいしいと言ってもらえて、うれしい幸せ」と満面の笑みだった。

同大はこの日から八月まで今年で五年目となる「夏のインターナショナルウィーク」を開く。留学生らと一緒に市内で木曽川うかいを見学したり、サッカーを楽しんだりする。八月には市内の奇祭「石上げ祭」への参加も予定している。

(三田村泰和)